

# グリーンプラン・パートナーシップ事業(2号事業) 概要説明

1. 事業概要			
実施主体	北海道旭川市	実施場所	旭川市
共同実施者	－	推薦者	－
2. 事業内容			
事業名称	バイオマスによる低炭素な地域づくり計画		
検討対象設備等	バイオマスガス化施設(廃熱及び未利用熱の有効利用)		
26年度補助金交付希望額	1,000万円		
事業内容	<p>本市が収集処分している廃棄物系バイオマスを中心に、発生量の現況や将来推計を計測し、ガス化を主とするエネルギー化の適切な方法を検討。発生するガスの活用や発電への利用等による採算性についても調査を行う。</p> <p>(背景)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成8年から稼働しているごみ焼却炉は、基幹的設備改良工事に着手し、平成37年度まで延命化する計画だが、その後の更新の方向性の検討が必要になっているほか、最終処分場の次期整備計画立案のためにも、ごみ処理システムの方向性を整理することが課題になっている。</li><li>・現在、ごみ焼却過程において発生する熱を発電やプラント設備に利用しているが、利用率は2割程度と効率が低く、生ごみや紙ごみ等の廃棄物系バイオマスの有効活用が課題である。</li></ul> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"><span style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">➔</span><div style="border: 2px solid black; background-color: yellow; padding: 10px; text-align: center;"><p><b>再生可能エネルギー</b></p><p>バイオマスガス化施設</p></div><span style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">➔</span><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><p>低炭素な地域づくり 循環型の地域づくり</p></div></div>		
3. 設備導入予定等			
設備導入予定	○ 本事業による調査の結果等を踏まえ、エネルギー化施設の整備とともに地域分散型エネルギーシステムの検討に着手する。本事業の導入が引き金となってバイオマスの利活用への理解が深まり、地産地消エネルギーの拡大、バイオマスによる低炭素な地域づくりに拍車をかけることが期待できる。		
副次的効果	○ 廃棄物系バイオマスのエネルギー化(資源化)による廃棄物処分量の減少(焼却炉の規模縮小)。 ○ 地域の特性に応じた最適なバイオマス資源の循環圏を構築することにより、農業系廃棄物や木質系廃棄物などのバイオマス利活用を促進するなど、地域の連携を図りつつ、低炭素社会や自然共生社会とも統合された持続可能な低炭素型循環型社会の基盤を形成。		